



第 40 号

調 布 市 文 化 協 会

調布市小島町 2-33-1 調布市文化会館たづくり 6 F

次世代につなげよう調布の芸術文化

調布市文化協会

会長 高岡 宮子

調布市文化協会の規約(目的)第三条 本協会は調布市の芸術・文化を振興し、広く市民の文化生活の向上に資するとともに、加盟団体の発展向上と相互の連絡強調を図ることを目的とする。

苦節41年、この目的に則り先輩諸兄の築いた活動・事業は脈々と受け継がれ、その時代のニーズに会う軌道修正を行い、組織の充実とともに新規事業の立案につとめ、中でも半世紀を経た調布市民文化祭をはじめ、10年以上の実績を誇る多種事業の活動経過は、年二回発行される文化協会広報誌「会報」で紹介してきました。

また、文化協会規約に添って設置された意義ある自主活動が認められ、文化協会は調布市に欠かせない重要な団体であり、従来の補助金支給団体から「交付金」として執行する団体と認められたのは一年前の事。

まさに分野の異なる二十二団体が、相互の連絡強調を図りながら一丸となって得られた功績と自負しています。

今後の文化協会の在り方として、

① 文化協会活動における認識の再確認

個々においては、文化協会活動をしつかりと

認識し、各団体へいかに伝え協力体制が得られるか。また、役員においても今後の文化協会はいかに在るべきか、良き伝統を次世代に引き継ぐべく総合的な、将来を見据えた努力を惜しんではならないと思います。

この事により行政との信頼関係がさらに確立され、行政・文化協会・市民が共有できる文化協会活動の充実につながるものと確信してやまない次第です。

② 各団体・分野における後継者育成の努力

市民文化祭での文化協会加盟各団体の自主的企画の催し物は、年々レベルアップし感動する素晴らしい場となっていますが、少子高齢化は日本社会の現状と相俟ってどの団体も高齢化が目立つ昨今、各団体・各種の優れた芸術文化を次世代に継承する努力が求められています。

『人間一人では何も出来ない。物づくりは出会いと協力である』私が会長就任以来の座右の銘のごとく、文化を愛する人々との出会いと協力で文化協会は調布市における磐石で、重要な組織であることは言うまでもありません。

平成十九年度事業報告

平成19年

4・13 文化協会役員会
4・27 第41回総会（懇親会）
18年度事業会計報告

5・11 19年度事業協画・予算
文化協会役員会

5・26～27 前橋市文化協会との研修
交流旅行（31人参加）

6・12 第1回理事会
専任事務員雇用要項につ
いて

7・10 会報39号発行
7・26 市長と語る懇談会

8・11～12 木島平村芸術文化協会と
の交流（28人参加）
木島平村夏祭り懇談会参
加

8・26 調布よさこいへの協力
模擬店出店・役員が担当
民謡舞踊好友会参加協力

9・7 文化協会役員会
12・5 文化協会役員会

平成20年

1・18 第2回文化協会理事会
1・30 理事会新年会
2・21 第11回生涯学習講演会

講師 向井万起男氏
「アメリカ大リーグよも

第52回調布市民文化祭実行委員会報告

平成19年度
4・20～30 文化祭参加団体申込
受付
5・18 第1回実行委員会
参加団体確認
開催日程と会場割 他
6・15 第2回実行委員会
テーマ・予算案決定
ポスター・総合プログラ
ム作成準備
市報原稿確認
7・20 第3回実行委員会
開会式・プラザの内容決
定

9・9～19 一般市民文化祭申込
受付（81人）
9・14 第4回実行委員会
ポスター配布
会場重複の経過説明と結
果報告
看板の確認
10・5 第5回実行委員会
総合プログラム配布
ゴミの扱いについて説明
10・11 第52回文化祭開会式
「式典」「アトラクション」

3・12 第3回理事会
「やま話」
平成19年事業と会計報告
平成20年事業計画案・予
算案
任期満了に伴う役員選出

3・12 第3回理事会
「やま話」
平成19年事業と会計報告
平成20年事業計画案・予
算案
任期満了に伴う役員選出

3・12 第3回理事会
「やま話」
平成19年事業と会計報告
平成20年事業計画案・予
算案
任期満了に伴う役員選出

3・12 第3回理事会
「やま話」
平成19年事業と会計報告
平成20年事業計画案・予
算案
任期満了に伴う役員選出

3・12 第3回理事会
「やま話」
平成19年事業と会計報告
平成20年事業計画案・予
算案
任期満了に伴う役員選出

3・12 第3回理事会
「やま話」
平成19年事業と会計報告
平成20年事業計画案・予
算案
任期満了に伴う役員選出

3・12 第3回理事会
「やま話」
平成19年事業と会計報告
平成20年事業計画案・予
算案
任期満了に伴う役員選出

「やま話」

3・12 第3回理事会

平成19年事業と会計報告
平成20年事業計画案・予
算案

任期満了に伴う役員選出

参加人員559人であった。

くすのきホールにて

10・11～11・11 文化祭開催
10・13～14 文化祭プラザ
市役所前庭にて
工芸・囲碁・将棋の実技
コーナー
エスベラント・アマチュ
ア無線の展示・発表
ハワイアンフラダンスの
発表と箏の演奏

10・27～11・4 3公民館地域文
化祭
第6回実行委員会報告会
参加状況報告
会計報告
次年度の検討・要望など

10・27～11・4 3公民館地域文
化祭
第6回実行委員会報告会
参加状況報告
会計報告
次年度の検討・要望など

10・27～11・4 3公民館地域文
化祭
第6回実行委員会報告会
参加状況報告
会計報告
次年度の検討・要望など

10・27～11・4 3公民館地域文
化祭
第6回実行委員会報告会
参加状況報告
会計報告
次年度の検討・要望など

10・27～11・4 3公民館地域文
化祭
第6回実行委員会報告会
参加状況報告
会計報告
次年度の検討・要望など

10・27～11・4 3公民館地域文
化祭
第6回実行委員会報告会
参加状況報告
会計報告
次年度の検討・要望など

10・27～11・4 3公民館地域文
化祭
第6回実行委員会報告会
参加状況報告
会計報告
次年度の検討・要望など

なお、期間中に文化協会主催・

(財)調布市文化コミュニティ振興財

団共催で実施された。
実技講座9団体
文化講座1団体

参加人員559人であった。

調布市文化協会主催

第11回生涯学習講演会

副会長 海老澤 勇

テーマ 「アメリカ大リーグよも

やま話」

講師 向井 万起男 氏

とき 平成20年2月21日(木)

ところ 調布市文化会館たづくり・

12階大会議場



昨年の講演会で「メジャーリーグについて日本一詳しいのが自慢」と語った向井万起男氏に、「宇宙よもやま話」に続いて第二弾、「アメリカ大リーグよもやま話」をお願いしたいとFAXで依頼、「ほんとに野球の話でいいの?」とお電話をいただき即快諾。

当日定刻、高岡宮子会長と長友貴樹市長のご挨拶のあと向井先生が登場。冒頭ご自分の名前、万起男の由来を披露、アメリカの友人達に大受けする話に会場爆笑。

そして本題。先生がメジャーリーグに興味を持ったのがわずか八才。昭和30年にニューヨークヤンキースが日本に来た時以来52年にわたる「メジャー・オタッキーである」、と熱く語られただけあって

その博識ぶりには唯々驚嘆、敬服の極みでした。

野球はニューヨークマンハッタンで生まれた。アメリカ南北戦争の時戦場で東部出身者が他の兵士達に教え、戦争終了後帰国した兵士達によって全米同時に広がったとのことである。



写真提供：斎藤一正氏

さらにプロ野球誕生の歴史からひととき、今、現在に至るまで、メジャーリーグとその時代時代の出来事との関連、そして個々選手の記録、経歴、家系等々、矢継ぎ早にポンポン語る様は正に本物!! 「オタッキー」を超えていました。

日本人メジャーリーガーイチローに対する先生の評価は最高で、年間262安打の世界記録と、連続7年の200本安打が如何に傑出した凄い記録であるか、パソコンのデータと映像を駆使した解説はさすがの一言でした。

今年もイチローが活躍、松坂大ブレイク。これが先生の予想です。楽しく学習できた講演会でした。

結び、皆様のご協力で盛会になりました。有難うございました。

講師プロフィール

向井 万起男 氏

慶應義塾大学医学部・准教授
病理診断部 部長 医学博士
'47年(昭和22年) 東京生まれ
'72年(昭和47年) 慶應義塾大学
医学部卒業

趣味は野球と宇宙

自慢は女房と名前の万起男と、云々切る愛妻家。夫人は勿論向井千秋氏、アジア初の女性宇宙飛行士、二度宇宙飛行をされた。

そして趣味のメジャーリーグについての博識ぶりには唯々驚嘆、「日本一詳しい」との言葉は本物である。

第52回 調布市民文化祭
「調布を彩る 文化の祭典」

2007年10月11日(木)～
 11月11日(日)

(文化祭プラザ
 10月13日(土)～14日(日)
 於調布市役所前庭)

開会式アトラクション
 桐朋女子高等学校音楽科
 「ピアノ三重奏のタベ」



第52回調布市民文化祭は、右記のテーマと期間で開催されました。参加団体は、大会・発表部門19団体と展覧・展示部門9団体、そして東部・西部・北部の3公民館地域文化祭(10月27日(土)～11月4日(日))が各会場で熱心に趣向をこらして行われました。

10月11日の文化祭開会式は出席



西部地域文化祭



北部地域文化祭



クラシックギター発表会 (電気通信大学古典ギター部)



奇術発表会 (奇術協会)



フラワーデザイン協会



民謡発表会 (民謡連盟)



吟剣詩舞発表会 (吟剣詩舞道連盟)

者数六八二名でくすのきホールが満席となりました。アトラクションでは桐朋女子高等学校音楽科の生徒さんによる、ヴァイオリン、チェロ、ピアノの三重奏で、すばらしい演奏に拍手喝采でした。今年の観覧者数は発表部門一、七一七名 展览展示部門一四、三三二名でした。また10月13・14日、調布市役所前庭で開かれました文化祭ブラザも本部テントでのコーヒー販売や実技・実演コーナーでの市民参加、そして野外ライブとしてハワイアンフラ協会によるフラダンス・タヒチダンスや調布三曲協会による箏と十七絃の演奏がありました。市民の皆様にごこのような催しがあることを知り、参加

調布市民文化祭に寄せて

調布市文化・コミュニティ

振興財団事業課 岡野政博

第52回調布市民文化祭では、参加団体と一般市民の会場重複という事態となり結果調布三曲協会の演奏会が2日間に分けられてしまったという事に関して実行委員会



東部地域文化祭

していただけることを願いつつ、今後一層頑張つて参りたいと思います。

の皆様をはじめ、関係者の方々にご迷惑をおかけし、担当者として申し訳ない思いで一杯でした。この苦境において、財団の至らなさを皆さんが補ってくださり、無事に文化祭を実施することができ、感謝に絶えません。ありがとうございます。



ハワイアンフラ・フェスティバル (ハワイアンフラ協会)

文化祭期間中、公民館を含め、それぞれの様子を拝見させていただきましたが、日頃の成果を十二分に発揮され、担当者としても感慨深いものがありました。今後市民活動の発表場である文化祭を盛り上げていきたいと思っております。よろしくお願いたします。



市民将棋大会 (将棋連盟)



大正琴発表会 (大正琴連盟)



フラワーデザイン展 (

実 技 講 座

デジカメ&ビデオ初級講座

調布映像協会

黒 澤 眞

七月三日、四日の二日間デジカメ&ビデオの初級実技講座を開催しました。

最近ではデジカメを持つ人が多く毎年この初級講座を行っています。が、幸い大勢の人達が関心を持っ



ていて今年も沢山の参加申し込みがありました。

デジカメを買っていざ使おうと思つて取扱説明書を見ると色々書いてはあるが読むのが結構大変だと云う人が多いのが実情です。

この講座ではそんな人達を対象にデジカメを買つた時先ず最初にする事から始まつて、初めは不慣れな半押しでピントを合わせる方法から人物・風景・夜景等の撮影を習得出来たのだと思います。今後気軽にデジカメでの撮影を楽しまれる事を望みます。

(延べ参加人数65人)

詩吟・初級者のための講座

調布市吟剣詩舞道連盟

出 浦 雪 励

昨年6月9日、23日、30日の各土曜日の三日間「詩吟、初心者のための講座」を実施しました。

今回は雪山流調布支部が担当し特に初心者を対象に生涯学習として、永く楽しんで頂くよう、三日間を通して、基本姿勢・発声の呼吸法・詩文通釈・アクセント・節調の他、母音と子音の関係等を、模範実技で指導、また私の教室会員も協力し、一緒に漢詩「富士山」等を繰り返し合吟し、和やかな体験実習を行なっております。

初めの方には、どなたでも詩文を読み味わうことは難しいのですが、まず大きな声を出すことが重要で、それが健康増進につながり、身も心もすっきりとして、明日へのエネルギーが湧くこと等を実践して頂いたものと思っております。

.....

調布市吟剣詩舞道連盟では本年35周年を迎え、来る6月29日(日)、文化会館たづくり、くすのきホールで加盟各流、会派の協力と上部団体の東京都吟剣詩舞道総連盟の

後援を得て記念大会を行います。どうぞ皆様方、多勢のご来場をお待ちしております。

(延べ参加人数51人)

その他今期の実技講座の開催は

○大正琴連盟 11月18日・25日

「はじめて弾く大正琴」

講師 清水和子氏

○将棋連盟 1月12日・26日

2月9日

「将棋入門講座」

講師 蛸島彰子女流五段他

参加人員50名

○音楽連盟 1月23日・30日

2月6日

「発声基礎講座(女性コーラス)」

講師 石井幸代氏

参加人員70名

○フラワーデザイン協会

2月14日・28日

「パンフラワー初心者講習会」

(予定) 講師 高岡宮子氏

「調布市せんがわ劇場」の誕生

調布市演劇協会

山 根 久 幸

調布は昔から文化芸術、芸能そしてスポーツに関しても盛んなまちです。昭和二十年終戦間もなく食糧や物資の乏しいなかで調布町の絵を描く人達は制作意欲を抑えがたく展覧会を開いた。昭和二十二年に文化会結成の話し合い。昭和二十三年に調布町文化会の結成式が行われ美術家愛好者を中心とした美術展が開かれた。一方映画の方も戦争中も休む事なく制作され終戦後も増々活発に成り日本のハリウッドと云われ今日まで続いている。野球も盛んなまちで終戦直後青少年不良化防止で警察が後援し少年野球が全国規模で開催され調布も参加、絵の方は学校の教室で開かれていましたが野球の方は校庭で行われていました。今だに市営の硬式球場は有りません。

芝居の方も撮影所の人達が校庭とか広場に丸太を組んで特設の舞台を立て、学芸会や、青年団の人達による芝居が公演されたりしてい



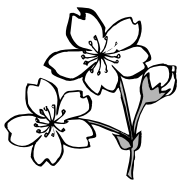
場「調布市せんがわ劇場」がオープンします。舞台芸術を身近に体験でき、気軽に鑑賞できる場を提供し、さまざまな舞台芸術者が集



ました。そうした長い歴史が続き、やがてグリーンホール、文化会館たづくり、くすのきホールが開館しましたが、調布の市に初めて平成二十年四月一日に演劇の専門劇

いこの施設から新たな舞台芸術活動が生まれ果立っていくことを願っています。二月から三月にかけてオープンングイベントとして桐朋学園芸術短期大学専攻公演。せ

んがわ劇場の劇団アンサンブル公演などが行われます。そして調布市内の二劇団が選ばれ、プロ劇団21世紀FOXが三月五日～九日深大寺恋物語受賞作原案による「深大寺恋物語」。市民劇団として、演劇協会所属「調布市民演劇センター」創立十周年記念公演」として三月二十七日～三十日「調布わが町」をオープンングイベントの最終を飾る事に成りました。二劇団共奇しくも調布に関する作品に成りました。又調布市音楽連盟も三月十五日～十六日のリレーコンサートに参加の予定です。調布市文化協会としても、この劇場が音楽・舞踊なども含めて舞台に関係する各団体に広く利用され、老若男女を問わず市民の皆様が愛される場になることを期待しています。



調布三曲協会

45周年記念演奏会

調布三曲協会 渡辺 泰子

調布三曲協会は昭和四十一年に文化協会発足と同時に加盟させていただき、地域活動での輪を広げてまいりました。昨年九月一日、創立四十五周年演奏会を無事開催出来ましたのは、先人から受け継いできた素晴らしい日本の伝統音楽をこの地に広めたいと願う会員の惜しみない努力と、文化協会の皆様の温かいご支援があったからこそと思います。又出演者全員で長沢勝俊作曲の「子供の四季」を田村拓男先生の指揮により、調布市立布田小学校合唱部の皆様と共に演奏し大成功に終わったことは三曲協会の歴史に残る演奏となりました。これからも私達も良い音楽を奏で、地域活動にも益々力を注ぎ調布市の文化発展



に少しでも貢献出来ます様努力して参ります。

あとがき

私の父が何十年前前に調布に居を構えた時、調布と田園調布の違いを説明するのに「田園があるのが調布で、田園のないのが田園調布」ですなどと苦しい説明をしていました。今では調布と云えば、名前だけは知っているという人が大多数になりました。

しかも昨今は、京王線で14分も乗れば「新宿」と云う利便性が、かなり浸透して参りました。

その京王線の調布駅を中心とする立体交差の大工事が今、着実に進捗しています。

こうした中で、「調布市せんがわ劇場」が出来て、調布にまた文化の灯がひとつ灯ることになりました。

また数年前に出来た「あくろす」も最近では部屋の確保が仲々難しいほど申込みが増えています。

「調布よさこい」も年々観客が増えて参りました。

こうしたトピックスは、いずれも調布における文化活動が地味乍ら、盛んになっていく現われだと思われ、嬉しいことです。

また明治以来文化は、まず先進国の文化を輸入する色彩が強かったのですが、近年はアニメ、食文化などを中心に日本の文化に対する外国の関心も高まり、いわば双方通行の国際化がはじまっています。

こうした時期に、市民センター跡地出来る施設の中で、国際交流協会による日本語などの語学教室も行われる計画と聞いています。着実に未来の文化が育まれることを期待しましょう。

生涯学習講演会は、二年続けて向井万起男先生ですが、いずれも好評で、多くの参加者にきて頂きまことに有難う御座いました。

(宇都宮、美蔭)